

富山県透析患者等発生予防推進事業ワーキンググループの設置について

1 富山県透析患者等発生予防推進事業ワーキンググループ設置の経緯

国の第8次医療計画の見直しのポイント（①糖尿病の発症予防、治療・重症化予防、合併症の治療・重症化予防のステージに重点を置いた取組の推進②診療科間連携及び多職種連携の取組の強化等）にあわせ、県においても従来の事業の見直しと強化を図ることとしたい。そのため、診療科間連携強化にかかる具体的な取組内容については、ワーキンググループを設置し検討を行う。

富山県透析患者等発生予防推進事業ワーキンググループとは

富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会の下部組織として、糖尿病及び慢性腎臓病患者の医療連携体制及び保健医療の連携体制を専門的に検討するために設置。

【主な協議事項】

- （1）医療連携体制、保健・医療連携体制に関すること
- （2）医療・保健支援体制マニュアルに関すること
- （3）その他、透析患者等発生予防の推進に必要なこと

2 ワーキンググループのスケジュールと主な協議内容（案）

（1）主な協議事項

診療科間連携、保健・医療連携体制の強化に向けた課題の整理と対応策の検討

- ・ かかりつけ医と専門医等の診療科間連携の在り方の検討
- ・ 連携のための媒体や紹介様式等の作成及び周知

（2）スケジュール

令和6年1月 ～ 令和6年6月	【ワーキンググループ 1～2回程度の開催】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療科間連携強化に向けた課題の整理、連携の在り方の検討 ・ 連携媒体（案）、周知方法等の検討
7月	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携媒体（案）、周知方法等の報告
8月～	連携媒体を県内かかりつけ医等へ周知

3 ワーキンググループ委員の選定の考え方

選任のポイント

- ・ 県医師会、各圏域から医師会代表者を選出（かかりつけ医の意見を踏まえた議論を進めるため）
- ・ 糖尿病合併症重症化予防の観点から、糖尿病専門医、腎専門医、歯科医師、薬剤師から選出（各医療圏から糖尿病専門医・腎専門医を選出）
- ・ 保健と医療の連携推進の観点から保険者・行政から委員を選出